

編 集 後 記

今号も無事発刊される運びとなった。掲載が確定された投稿者はもちろんのこと、査読者として裏方にまわり発刊にご協力いただいた諸氏に御礼申し上げたい。ただ近年の本誌においては投稿本数が低調であり、今号もその例外ではない。

翻って本誌の存在目的を考えてみると、本学部教員に研究成果の発表機会を提供するというのがその役割である。しかし、大学教員にとっての発表媒体という点においては、本学内にも複数の媒体があり、また本誌と同じように掲載論文数の確保を課題としているものもある。次年度以降も低調が続くようならば、媒体間の統合も一つの選択肢として現状からの打開策を検討すべきではないか。

執 筆 者 紹 介（掲載順）

大 森 晋	京都文教大学総合社会学部・非常勤講師
大 西 貴 之	京都文教大学総合社会学部・講師

2017年度編集委員会

*平 塚 力 黒 宮 一 太

*編集委員長

京都文教大学 総合社会学部研究報告 第十九集

平成30年 3 月31日 発行

発 行 京 都 文 教 大 学
京都府宇治市榎島町千足80
〒611-0041 電話 (0774)25-2400

印 刷 (株) 同 朋 舎
京都市下京区中堂寺鍵田町2
〒600-8805 電話 (075)361-9121